P12H01013

当社は、印刷版のクローズドリサイクルシステムに参加し環境負荷削減に貢献しています。

印刷版アルミニウムのクローズドループリサイクルシステムで、CO_2を大幅に削減します。

弊社登録番号:P12H01013

一度印刷に使用された高純度（99.5%）のアルミ版は回収され再生されていますが、その際に他の低純度のアルミと混合されてしまうので、高純度の印刷版には再生できません。そのために印刷版は常に新たに精錬された地金から作られています。しかし新地金の精錬は環境負荷が非常に大きく、再生地金の30倍近いCO_2が排出されます。そこで印刷会社、アルミニウム回収会社、合金メーカー、圧延メーカーなどと協力して、アルミ版だけを回収・再生し品質の低下を伴わずに印刷版を製造する「クローズドループリサイクルシステム」を促進することで環境負荷の大幅な低減を図ることが可能となります。

サンエー印刷では富士フイルム製アルミ版のP2Pリサイクルの取り組みを2012年8月から開始、試行期間を経てクローズドループ運用が確立されました。

当社の印刷物は、この効果で大きなCO_2低減となっています。

「PLATE to PLATE」（以下P2P）リサイクルシステムとは経済産業省が推進する「アルミニウムのProduct to Product」の具現化事業として、富士フイルム株式会社が構築した「プレートのクローズドループリサイクルシステム」のことです。

P2P システムの必要性

①CO_2削減による温暖化防止

新地金1kgを精錬する際のCO_2発生量　9.22kg - CO_2

（参考：鉄は約1.2kg-CO_2・銅は約0.8kg-CO_2）

再生地金1kgを精錬する際のCO_2発生量　0.31kg - CO_2

再生地金の負荷は新地金の3.3%

②資源の有効利用と廃棄物の削減

カスケードリサイクルを続けると使用できない純度のアルミになり廃棄物となる

③アルミニウムの安定供給

新興国のアルミ需要増による新地金の不足と価格の高騰が懸念

CO_2 削減効果

P2Pリサイクルによる再生印刷版の負荷は約53%削減*

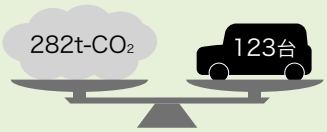
サンエー印刷の年間アルミ版使用実績（R4年度）で換算すると

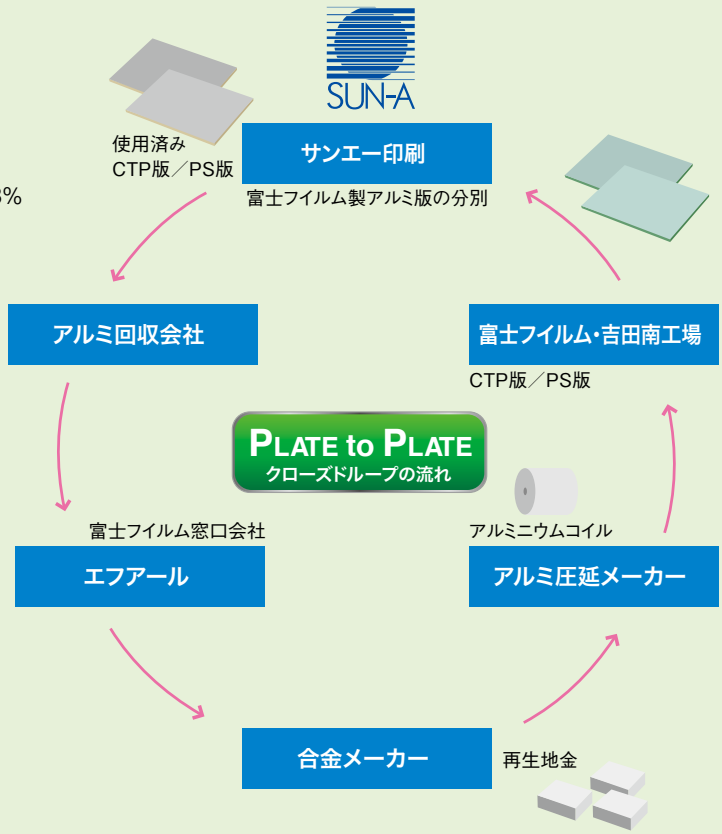
小台工場（枚葉印刷）で約225t - CO_2

埼玉工場（オフ輪印刷）で約18t - CO_2の削減効果**

その他省エネ等を含め合計282t - CO_2の削減量を自動車の排気ガスで換算すると年間約123台分に相当***

*当社試算　**メーカー計算による　***林野庁HP資料より当社試算





資料提供/富士フイルム株式会社